

# 年間教授計画 2026年度（4月～2月）

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間	単位数
画像編集技術	クラス: 1年M組 学科: デザイン コース: 全コース	石橋	Photoshopよくばり入門	2 時間/週	60 時間	2 単位

授業概要	adobe Photoshopを使用します。主に写真画像を使って画像のデジタル処理について学んでいきます。
最終到達目標	「デジタル画像とは何か?」を理解し、画像処理技術の基本知識を身につける。

月	週	単元	内容および授業方法
前期 (4月～9月)	1	導入 Photoshopについて (複数的小テストあり)	<b>基本1(講義→実習)</b> まずは基本的な以下の説明を行い、小テストで理解度を確認します ・カラー設定 ・サイズと解像度 ・選択範囲の作成 ・ツールの説明
	2		<b>基本2_課題1を通して以下の内容を学ぶ(講義→実習)</b> ・カラーモード ・レイヤー構造 ・チャンネル ・マスク処理 ・保存形式
	3		
	4	<b>課題1</b> 写真画像の扱い1 ・補正1 ・画像合成1 (複数的小テストあり)	
	5		<b>描画ツールについて_課題2を通して以下の内容を学ぶ(講義→実習)</b> ・ブラシツール説明 *サイズ、ボケ、不透明度などの変更 *シェイプ、散布などの調整
	6		
	7	<b>課題2</b> 写真画像の扱い2 ・補正2 ・画像合成2 (複数的小テストあり)	
	8		<b>変形ツールについて_課題3を通して以下の内容を学ぶ(講義→実習)</b> ・変形の応用・・・遠近法、ワープなど
	9		
	10	<b>課題3</b> 変形のバリエーション (複数的小テストあり)	
	11		<b>バッチ処理について_課題4を通して以下の内容を学ぶ(講義→実習)</b> 課題4を通して以下の内容を学びます ・バッチ処理(自動処理)とはなにか? ・アクションについて ・バッチについて
	12		
	13		
	14	<b>課題4</b> バッチ処理 (複数的小テストあり)	
	15		

後期 (10月～2月)	1	<b>応用課題</b> 教科書の練習データを使っ (オリジナル作品としての提出あり)	<b>応用_教科書の練習課題を使う(実習)</b> 同じ内容をシチュエーションを変えて繰り返すことによって、より理解を深める 例1)「ポストカード制作」の課題があるとして、テーマを変えながら繰り返す。 例2)「画像補正」の課題があるとして、使用画像を変えて繰り返す。  補足: この単元の練習課題はたくさんの量がありますが、ひとつひとつ丁寧に学んでいきましょう。  重要: ここで作成した課題のいくつかはポートフォリオに掲載できる完成度の高め提出すること。  告知: 後期に入って、小テストより規模の大きい実技試験をいくつか予定しています           以上 補足: 毎年の進行スピードをかながみて、上記の内容の変更や追加を行う場合があります。
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		

成績 評価 方法	項目 ※1		授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	そ の 他 ( )
	割合	前期	20%	40%	20%	10%	10%	0%
		後期	20%	40%	20%	10%	10%	0%

備考 ※2 多くの小実技テストを実施します。その“内容”と、とくに“提出状況”が全体評価の大半につながるので“授業への参加”を心がけて下さい。

※1 授業内試験: 期間内の総まとめの試験/小テスト: 単元ごとのテスト等/課題内容: 課題提出および課題の出来具合  
その他: ( )に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たったの留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。